

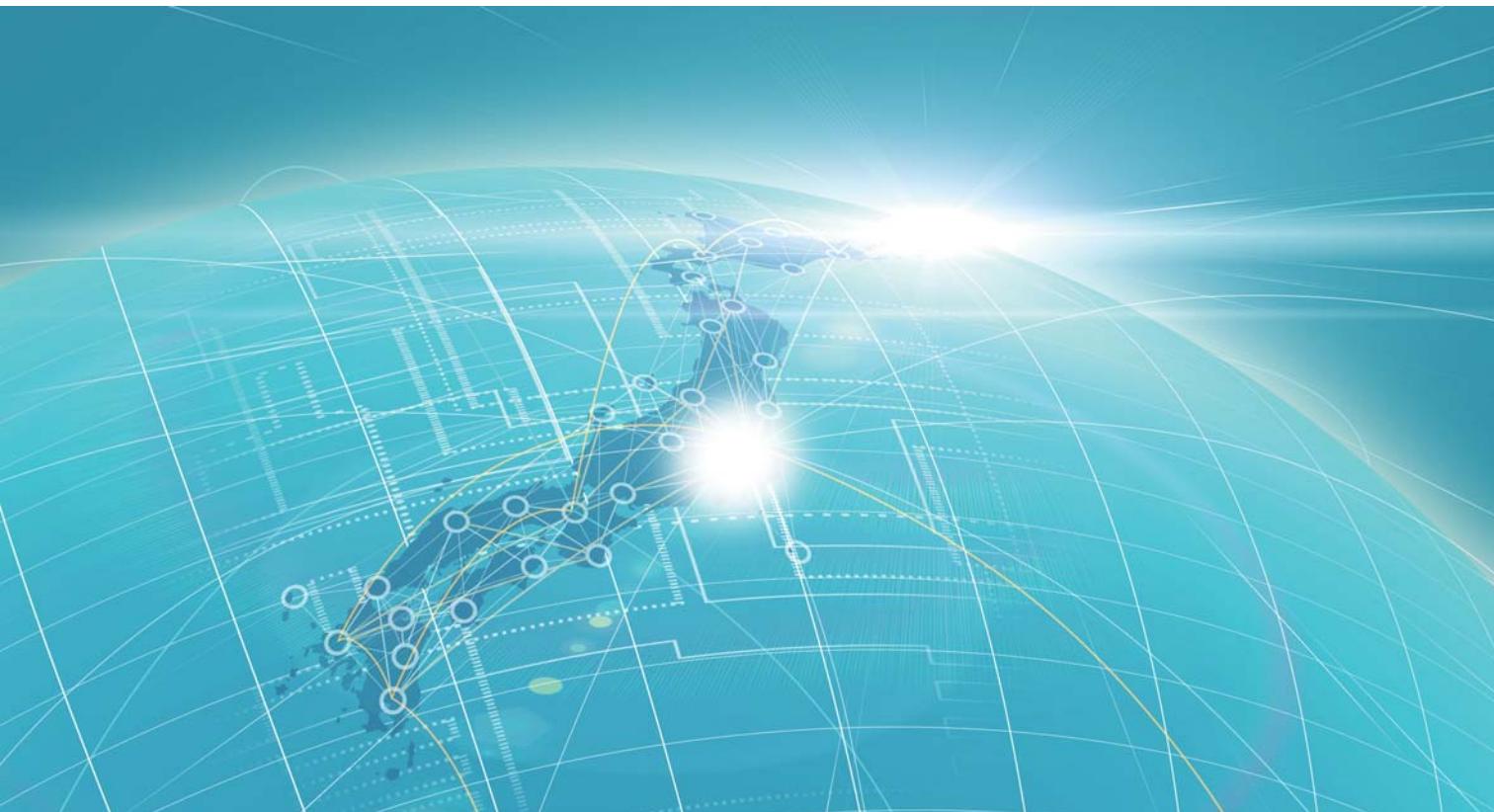
SURUGA bank

Hello Book 2007

中間ミニディスクロージャー誌

第197期営業の中間ご報告

平成19年4月1日～平成19年9月30日



ごあいさつ

当社の概要 平成19年9月30日現在

| | | | |
|-----|---------------|-----|----------|
| 設立 | 明治28年10月19日 | | |
| 本店 | 静岡県沼津市通横町23番地 | | |
| 店舗数 | 国内 | 124 | |
| | 静岡県内 | 80 | 神奈川県内 36 |
| | 東京都内 | 4 | 千葉県内 1 |
| | 埼玉県内 | 1 | 愛知県内 1 |
| | 大阪府内 | 1 | |
| 資本金 | 30,043百万円 | | |

目次

| | |
|---------------|----|
| ごあいさつ | 1 |
| 営業の概況 | 3 |
| 不良債権の状況 | 8 |
| 財務情報 | 10 |
| トピックス | 16 |
| 地域への支援活動 | 17 |
| d-labo(夢研究所) | 19 |
| 株式についてのご案内 | 20 |
| 主なインターネット支店一覧 | 21 |
| 営業店舗網 | 22 |

本誌の表示金額は単位未満を切り捨てて表示しています。



皆さまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申しあげます。ここに当社第197期中間期の営業の概況についてご報告申し上げます。

【金融経済環境】

当期における日本経済は、国内個人消費の停滞や調整を続ける米国経済の影響を受け、緩やかな回復基調の中、踊り場の局面が続きました。

このような経済環境のもと、株式市場は4月から世界景気の拡大期待を背景に緩やかに上昇し、6月には日経平均株価が18,200円台まで上昇しましたが、その後米国のサブプライムローン（信用力の低い個人向け住宅融資問題）による世界的な株価下落の流れを受けて、7月下旬から8月中旬にかけて日経平均株価も大幅に下落し、一時15,200円台となりました。しかし日本・米国・欧州の中央銀行が協調して十分な資金供給を行ったことで金融市場は徐々に落ち着きを取り戻し、期末の日経平均株価は16,700円台まで回復し取引を終了しました。

長期金利は、世界景気の拡大および日銀による利上げへの期待から、6月に1.9%台まで上昇しましたが、7月下旬から9月上旬にかけて、米国のサブプライムローン問題に端を発した信用不安のため日銀による政策金利の引き上げが遠のいたとの見方が広がり、長期金利は一時1.5%台まで大幅に低下しました。その後は、米国において政策金利の引き下げが行われ、株価が上昇した影響等で債券が売られ、日本の長期金利も上昇に転じ、9月末の長期金利は1.6%台となりました。

また、外国為替市場は、当初好調な経済指標を受けた米国の早期利下げ観測の後退による、円キャリートレード（低金利の円で投資資金を調達し、それを高金利の外貨に換えて運用する取引）再開の思惑を背景に、円安の展開となり、外国資産を組み入れた投信の設定等によるドル買いも加わり、一時1ドル124.14円まで円安が進行しました。しかし、7月中旬に米国格付け会社によるサブプライムローン関連証券の格下げ検討の報道を受け、金融市場が混乱する中で円高に転じ、資金供給に対する懸念の拡大や世界的な株安が進む中、円を買い戻す動きが強まり、一時1ドル111.60円まで円高が加速しました。9月末にかけては、米国の公定歩合引き下げにより市場の不安心理が一服したことで、ドルは反発に転じたものの上値は抑えられ、1ドル115円台を中心とした展開となりました。

【業界動向】

多くの金融機関が“攻めの経営”に転換する中で、従来の営業エリアを拡大すべく、周辺銀行との経営統合を行う動きも出てきました。地域金融機関の再編が話題となる一方で、異業種からの新規参入組も加わり、これからの競争はますます激化していくことが予想されます。また、9月末に施行された金融商品取引法では、金融機関に対し「顧客保護」に重点を置いたさまざまな対策を求めており、今後コンプライアンス体制の強化も含め、金融機関に対する信頼性がより一層問われることになっていくものと思われます。

【当社の業況】

スルガ銀行グループは、お客さまの〈夢をかたちに〉する、〈夢に日付を〉いれるお手伝いをミッションとして、人生の各ステージでお役に立つ商品やサービスをご提供できるよう取り組んでおります。

また、強固な収益基盤と財務体質の構築と、新しい事業への積極的な取り組み等により、グループ全体の企業価値を最大化していくことを目指しております。

当期につきましては、6月の改正建築基準法の施行に伴い新設マンション着工戸数が急減するという厳しい市場環境にもかかわらず、個人ローンを中心とした貸出業務が堅調に推移したこ

とや、実質与信費用の減少等により当初見通しを上回る利益を達成することができました。また、業績が好調に推移したことから株主の皆さまに対する利益還元の実を図るべく、中間配当金を当初予定（1株あたり5円50銭）より50銭増配し1株あたり6円とさせて頂きました。

【当期中の取り組み】

当期中の新商品・サービスにつきましては、5月より近畿日本ツーリスト株式会社と提携し、キャッシュカードにVISAデビットカードの機能を兼ね備えた、安全性と利便性の高い国際デビットカードの発行を開始いたしました。8月には、平成12年に邦銀で初めて女性向け住宅ローンの取り扱いを開始した当社が、新しいラインナップとして、夢の実現に向けて頑張る女性を応援するため、さまざまなヘルス&ライフサポートを付帯した住宅ローン「Dream Styleホームローン」を発売いたしました。9月には、個人のお客さまの相続に関するニーズ・ご相談にお応えするために、地方銀行では全国で2行目となる銀行本体による「遺言信託」「遺産整理業務」の取り扱いを開始いたしました。

新たな営業店舗としましては、さらに広い地域のお客さまに当社の商品をご利用いただきたいとの思いから、5月に大阪支店ならびに大阪ハウジングローンセンターを開設、6月には名古屋ハウジングローンセンターを開設いたしました。9月にはエヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社との提携により、12店舗目のインターネット支店となる「OCN支店」を開設いたしました。

当社では、今後も新たな分野への積極的な取り組みにより、「お客さまの期待を超えた良質のサービス」をご提供し、「ライフ・アンド・ビジネス・コンシェルジュ」として、お客さまのさまざまなライフステージにおいてお手伝いができるパートナーとなるべく、役職員一丸となって努力してまいります所存でございます。

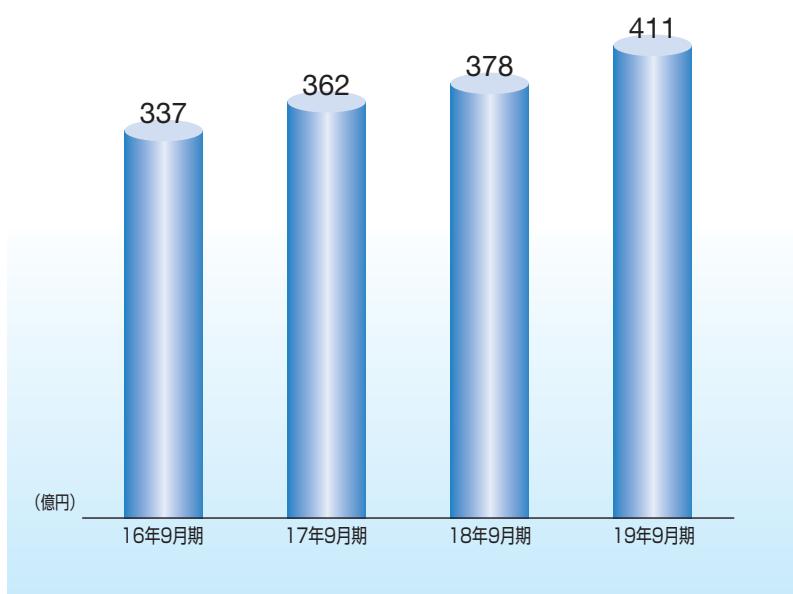
皆さま方には、今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年12月

社長 岡野光喜

営業の概況

当期の業績につきましては、次のとおりです。



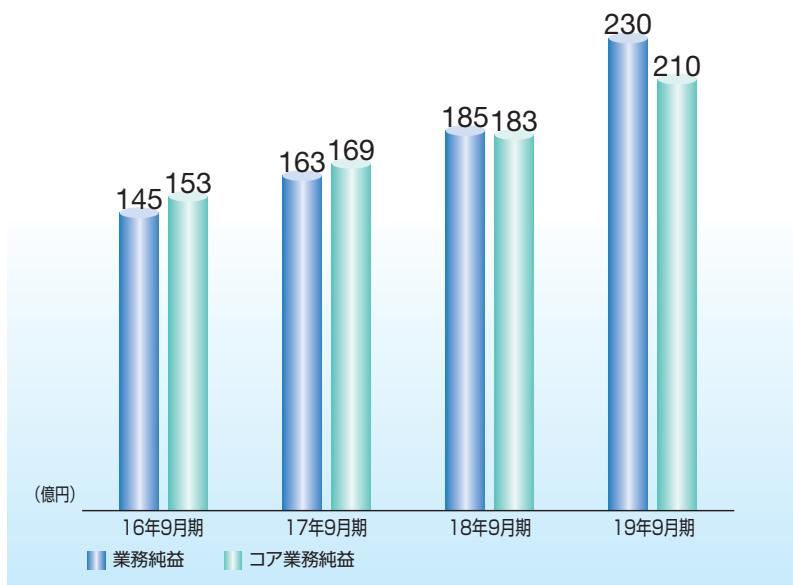
■ 業務粗利益

業務粗利益は、銀行の基本的な業務による利益を表すもので、貸出金や有価証券、預金などの利息収支を表す「資金利益」、各種手数料収支を表す「役務取引等利益」、外国為替などの売買損益を表す「その他業務利益」により構成されます。収益性の高い個人ローンの増加や、政策金利の引き上げに伴う貸出金利息の増加により前年同期比33億円増加しました。

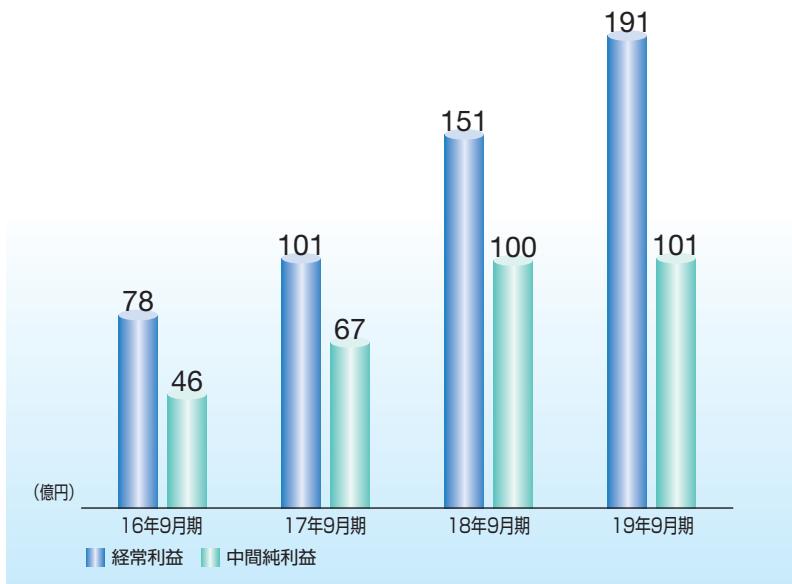
■ 業務純益／コア業務純益

コア業務純益は、経費が増加したものの、コア業務粗利益が増加したことにより、前年同期比27億円増加しました。

業務純益は、コア業務純益の増加と、一般貸倒引当金繰入額の減少などにより、前年同期比44億円増加しました。



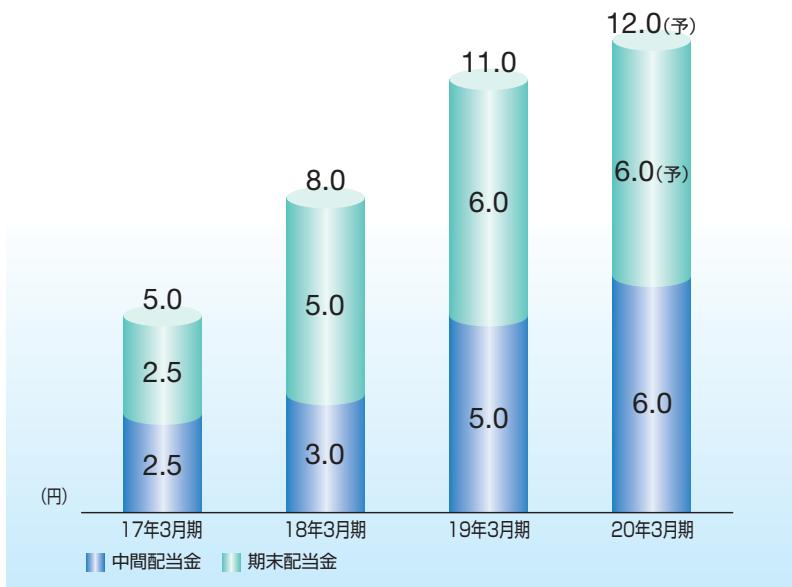
業務純益
＝業務粗利益－経費－一般貸倒引当金繰入額
コア業務純益
＝業務純益(一般貸倒引当金繰入前)－国債等債券損益(5勘定)



■ 経常利益／中間純利益

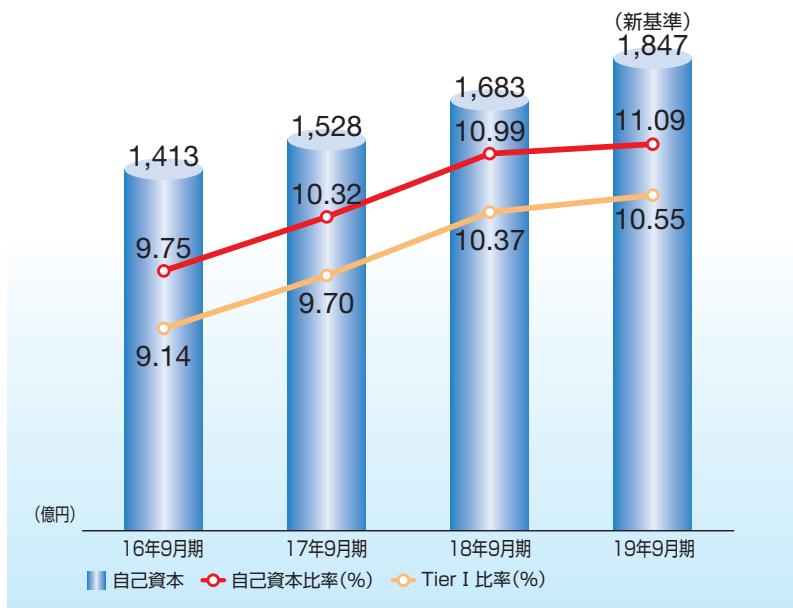
経常利益は、銀行本来の業務における利益を表す業務純益の増加等により前年同期比39億円増加となりました。

中間純利益は、経常利益の増加が会計制度の変更に伴う引当金の計上等による特別損益の減少を上回り、前年同期比1億円増加し、3期連続の過去最高益となりました。



■ 一株当たり年間配当金

平成19年9月期におきまして見通しを上回る業績となったことから、株主の皆さまへより一層の利益還元を図るべく、中間配当金を従来予想に対して一株当たり50銭増配し6円といたしました。また期末配当金につきましても一株当たり50銭増配し6円とし、その結果、一株当たり年間配当金は前年度比1円増配の12円を予定しております。



■ 自己資本／自己資本比率(国内基準)

自己資本は資本金、資本剰余金、利益剰余金等の基本的項目 (Tier I) と一般貸倒引当金等の補完的項目 (Tier II) により構成されています。

自己資本比率につきましては、平成19年3月期より新たな基準に基づき算出しております。当中間期は利益の積み上げによる内部留保の増加等により、前年同期末比0.10%上昇し、11.09%となりました。当社の補完的項目 (Tier II) は一般貸倒引当金のみ計上しております。

自己資本比率=自己資本額(基本的項目+補完的項目-控除項目)/リスクアセット×100
Tier I 比率=自己資本額(基本的項目: Tier I) / リスクアセット×100



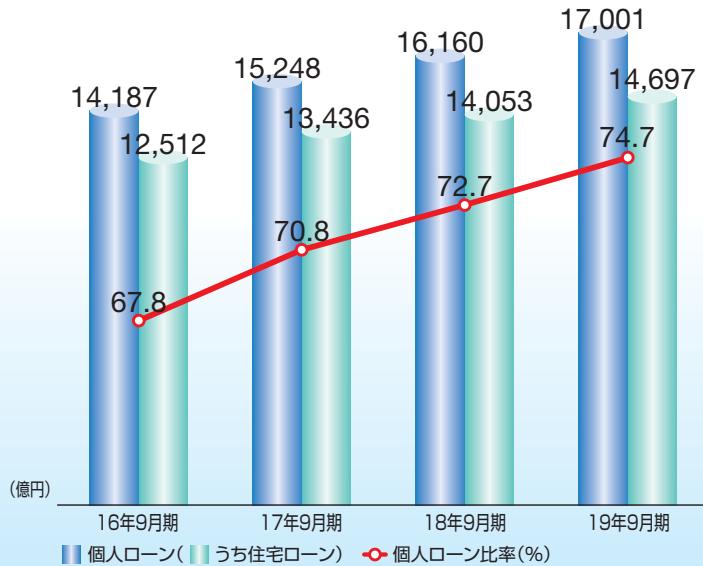
■ 貸出金期末残高／国内貸出金利回り

貸出金期末残高は、個人ローンの増加を主因に、前年同期末比541億円増加の2兆2,752億円となりました。また、国内貸出金利回りは収益性の高い個人ローンの増加や、平成19年2月の政策金利引き上げによる貸出金利回りの上昇に伴い、前年同期比0.35%上昇し3.60%となりました。

■ 個人ローンの推移

個人ローン期末残高は、耐震偽装問題への対応による建築確認審査の厳格化に伴う住宅着工件数の大幅な減少等、市場環境が厳しい中、前年同期末比841億円増加し、1兆7,001億円となりました。

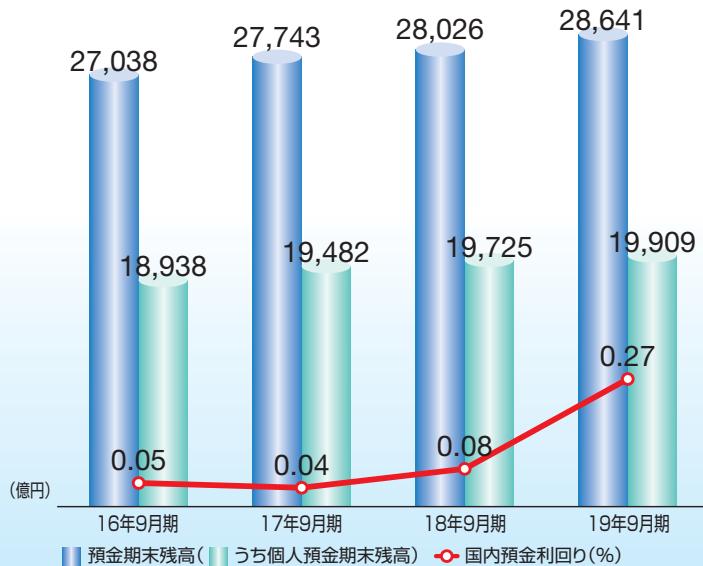
住宅ローン期末残高は、前年同期末比643億円増加し、1兆4,697億円となりました。総貸出金に占める個人ローンの比率は前年同期末比2%上昇し、74.7%となりました。



■ 預金期末残高／国内預金利回り

預金期末残高は、前年同期末比615億円増加し、2兆8,641億円となりました。

個人預金期末残高は、堅調に増加し前年同期末比184億円増加し、1兆9,909億円となりました。国内預金利回りは、前年同期比0.19%上昇し0.27%となりました。



営業の概況

■ 預貸金利ざや(全体)／預貸金利ざや(国内)／総資金利ざや(全体)

預貸金利ざやは、貸出金利回りに対し預金利回りと経費率を控除したものです。総資金利ざやは、資金運用全体と資金調達全体の利回りの差を表すものです。預貸金利ざやは、貸出金全体に占める変動金利貸出金の割合が高いことが寄与し、貸出金利回りの上昇が預金等利回りの上昇と営業強化のための経費率上昇を上回った結果、国内預貸金利ざやで前年同期比0.11%上昇し1.92%へと拡大しました。

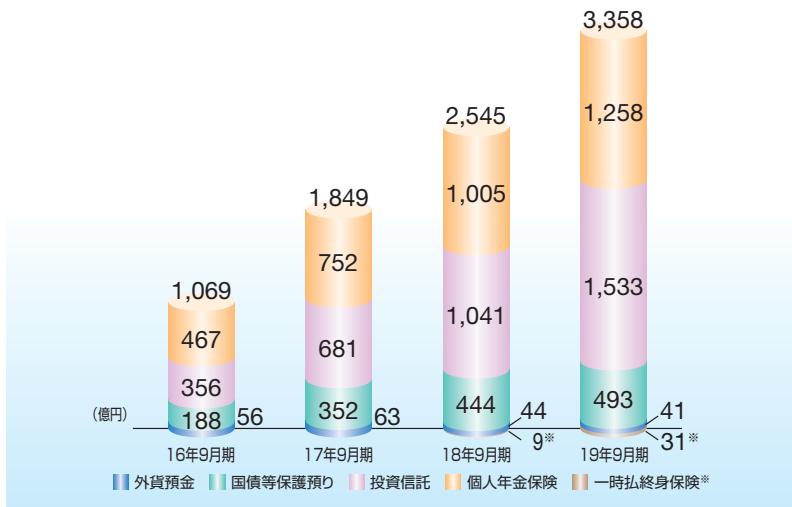


■ 経費／OHR

経費は、新店舗設置等の営業強化に伴う投資が増加したことにより、前年同期比10億円の増加となりましたが、効率性を示す指標であるOHR（オーバーヘッドレシオ）は、業務粗利益の増加（3ページをご覧ください）により前年同期比1.4%低下し、48.7%となりました。

OHR（オーバーヘッドレシオ(%)）＝経費／業務粗利益×100

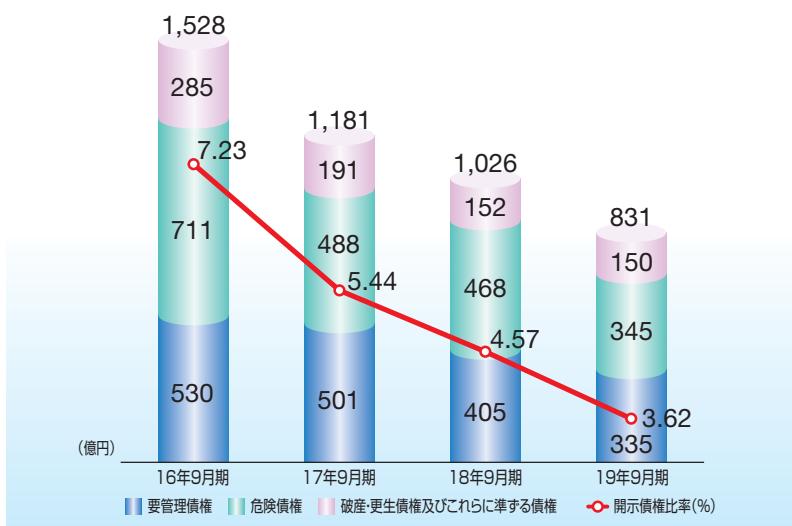




個人預り資産残高(投資性商品)

個人預り資産(投資性商品)の期末残高は、商品ラインナップの充実と営業力の強化により、投資信託、個人年金保険を中心に前年同期末比812億円増加し、3,358億円となりました。

不良債権の状況



金融再生法開示債権残高・比率の推移

より一層の資産の健全化を図るため、迅速な処理を進める一方、お取引先の経営改善支援にも積極的に取り組みました結果、開示債権額は、前年同期末比195億円減少し831億円となりました。総与信額に対する開示債権比率は前年同期末比0.95%低下し3.62%となりました。

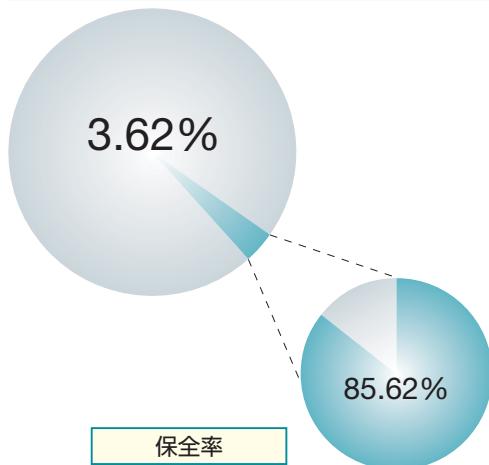
開示債権比率(%) = 開示債権残高 / 総与信残高 × 100

不良債権の状況

金融再生法に基づく開示債権

対象：要管理債権は貸出金のみ、その他は貸出金等と信関連債権

総与信残高に占める比率

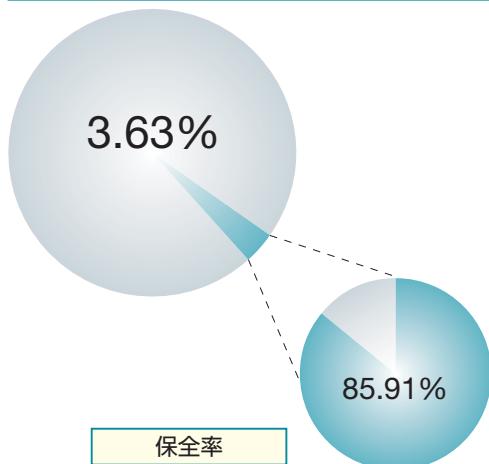


| | | 担保・保証 | 引当額 | 保全率 |
|--------------------|-----------|-------|-------|---------|
| 破産・更生債権及びこれらに準ずる債権 | 150億円 | 102億円 | 48億円 | 100.00% |
| 危険債権 | 345億円 | 209億円 | 116億円 | 94.32% |
| 要管理債権 | 335億円 | 170億円 | 65億円 | 70.21% |
| 小計 | 831億円 | 481億円 | 229億円 | 85.62% |
| 正常債権 | 2兆2,126億円 | | | |
| 合計 | 2兆2,957億円 | | | |

リスク管理債権

対象：貸出金

総貸出金に占める比率



| | |
|-----------|-------|
| 破綻先債権 | 18億円 |
| 延滞債権 | 473億円 |
| 3ヶ月以上延滞債権 | 13億円 |
| 貸出条件緩和債権 | 321億円 |
| 合計 | 827億円 |

貸出金残高(末残) 2兆2,752億円

自己査定における債務者区分

対象：貸出金等と信関連債権

| | |
|-------------|-----------|
| 破綻先 | 18億円 |
| 実質破綻先 | 131億円 |
| 破綻懸念先 | 345億円 |
| 要注意先 | |
| 要管理先 | 528億円 |
| 要管理先以外の要注意先 | 2,103億円 |
| 正常先 | 1兆9,829億円 |
| 合計 | 2兆2,957億円 |

※貸出金等と信関連債権：貸出金・支払承諾見返・外国為替・貸付有価証券・貸出金に準ずる仮払金・貸出金未収利息・当社保証付私募債

財務情報

第197期中 中間連結貸借対照表 (平成19年9月30日現在)

(単位：百万円)

| 科目 | 金額 |
|--------------|-----------|
| (資産の部) | |
| 現金預け金 | 61,883 |
| コールローン及び買入手形 | 179,651 |
| 買入金銭債権 | 396 |
| 商品有価証券 | 110 |
| 金銭の信託 | 2,253 |
| 有価証券 | 493,791 |
| 貸出金 | 2,271,399 |
| 外国為替 | 3,541 |
| その他資産 | 33,806 |
| 有形固定資産 | 42,050 |
| 無形固定資産 | 11,917 |
| 繰延税金資産 | 18,214 |
| 支払承諾見返 | 6,303 |
| 貸倒引当金 | △36,954 |
| 資産の部合計 | 3,088,364 |

| 科目 | 金額 |
|--------------|-----------|
| (負債の部) | |
| 預金 | 2,861,898 |
| コールマネー及び売渡手形 | 2,308 |
| 借入金 | 6,844 |
| 外国為替 | 17 |
| その他負債 | 23,138 |
| 賞与引当金 | 575 |
| 退職給付引当金 | 142 |
| 役員退職慰労引当金 | 2,472 |
| 睡眠預金払戻損失引当金 | 285 |
| 特別法上の引当金 | 0 |
| 支払承諾 | 6,303 |
| 負債の部合計 | 2,903,985 |
| (純資産の部) | |
| 資本金 | 30,043 |
| 資本剰余金 | 19,488 |
| 利益剰余金 | 131,248 |
| 自己株式 | △1,995 |
| 株主資本合計 | 178,784 |
| その他有価証券評価差額金 | 4,549 |
| 繰延ヘッジ損益 | 30 |
| 評価・換算差額等合計 | 4,579 |
| 新株予約権 | 138 |
| 少数株主持分 | 876 |
| 純資産の部合計 | 184,378 |
| 負債及び純資産の部合計 | 3,088,364 |

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第197期中 中間連結損益計算書 (平成19年4月1日から平成19年9月30日まで)

(単位：百万円)

| 科目 | 金額 |
|-----------|--------|
| 経常収益 | 59,768 |
| 資金運用収益 | 46,651 |
| 貸出金利息 | 41,979 |
| 有価証券利息配当金 | 3,160 |
| 役務取引等収益 | 7,694 |
| その他業務収益 | 3,194 |
| その他経常収益 | 2,228 |
| 経常費用 | 41,611 |
| 資金調達費用 | 7,434 |
| 預金利息 | 4,937 |
| 役務取引等費用 | 4,183 |
| その他業務費用 | 2,655 |
| 営業経費 | 20,809 |
| その他経常費用 | 6,528 |

| 科目 | 金額 |
|--------------|--------|
| 経常利益 | 18,157 |
| 特別利益 | 893 |
| 特別損失 | 2,845 |
| 税金等調整前中間純利益 | 16,205 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 6,249 |
| 法人税等調整額 | 716 |
| 少数株主利益 | 0 |
| 中間純利益 | 9,238 |

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第197期中 中間連結株主資本等変動計算書 (平成19年4月1日から平成19年9月30日まで)

(単位：百万円)

| | 株主資本 | | | | |
|----------------------------------|--------|--------|---------|--------|---------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 平成19年3月31日残高 | 30,043 | 18,640 | 123,571 | △3,699 | 168,555 |
| 中間連結会計期間中の変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △1,561 | | △1,561 |
| 中間純利益 | | | 9,238 | | 9,238 |
| 自己株式の取得 | | | | △97 | △97 |
| 自己株式の処分 | | 847 | | 1,802 | 2,649 |
| 株主資本以外の項目の 中間連結会計期間中の変動額 (純額) | | | | | |
| 中間連結会計期間中の変動額合計 | — | 847 | 7,677 | 1,704 | 10,228 |
| 平成19年9月30日残高 | 30,043 | 19,488 | 131,248 | △1,995 | 178,784 |

| | 評価・換算差額等 | | | 新株予約権 | 少数株主持分 | 純資産合計 |
|----------------------------------|------------------|-------------|----------------|-------|--------|---------|
| | その他有価証券 評価差額金 | 繰延ヘッジ 損益 | 評価・換算 差額等合計 | | | |
| 平成19年3月31日残高 | 8,169 | 55 | 8,224 | 68 | 366 | 177,215 |
| 中間連結会計期間中の変動額 | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | △1,561 |
| 中間純利益 | | | | | | 9,238 |
| 自己株式の取得 | | | | | | △97 |
| 自己株式の処分 | | | | | | 2,649 |
| 株主資本以外の項目の 中間連結会計期間中の変動額 (純額) | △3,620 | △25 | △3,645 | 69 | 510 | △3,065 |
| 中間連結会計期間中の変動額合計 | △3,620 | △25 | △3,645 | 69 | 510 | 7,163 |
| 平成19年9月30日残高 | 4,549 | 30 | 4,579 | 138 | 876 | 184,378 |

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第197期中 中間貸借対照表 (平成19年9月30日現在)

(単位：百万円)

| 科目 | 金額 | 科目 | 金額 |
|--------|-----------|--------------|-----------|
| (資産の部) | | (負債の部) | |
| 現金預け金 | 60,651 | 預金 | 2,864,119 |
| コールローン | 179,651 | コールマネー | 2,308 |
| 買入金銭債権 | 396 | 外国為替 | 17 |
| 商品有価証券 | 110 | その他負債 | 17,093 |
| 金銭の信託 | 2,253 | 賞与引当金 | 524 |
| 有価証券 | 494,114 | 役員退職慰労引当金 | 2,468 |
| 貸出金 | 2,275,273 | 睡眠預金払戻損失引当金 | 285 |
| 外国為替 | 3,541 | 特別法上の引当金 | 0 |
| その他資産 | 25,386 | 支払承諾 | 6,309 |
| 有形固定資産 | 33,328 | 負債の部合計 | 2,893,126 |
| 無形固定資産 | 10,687 | (純資産の部) | |
| 繰延税金資産 | 17,239 | 資本金 | 30,043 |
| 支払承諾見返 | 6,309 | 資本剰余金 | 18,587 |
| 貸倒引当金 | △33,516 | 資本準備金 | 18,585 |
| 資産の部合計 | 3,075,426 | その他資本剰余金 | 1 |
| | | 利益剰余金 | 130,969 |
| | | 利益準備金 | 30,043 |
| | | その他利益剰余金 | 100,926 |
| | | 退職給与積立金 | 840 |
| | | 別途積立金 | 86,532 |
| | | 繰越利益剰余金 | 13,553 |
| | | 自己株式 | △1,978 |
| | | 株主資本合計 | 177,621 |
| | | その他有価証券評価差額金 | 4,508 |
| | | 繰延ヘッジ損益 | 31 |
| | | 評価・換算差額等合計 | 4,540 |
| | | 新株予約権 | 138 |
| | | 純資産の部合計 | 182,299 |
| | | 負債及び純資産の部合計 | 3,075,426 |

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第197期中 中間損益計算書 (平成19年4月1日から平成19年9月30日まで)

(単位：百万円)

| 科目 | 金額 |
|----------------|---------------|
| 経常収益 | 54,764 |
| 資金運用収益 | 45,739 |
| 貸出金利息 | 41,071 |
| 有価証券利息配当金 | 3,158 |
| 役務取引等収益 | 7,311 |
| その他業務収益 | 286 |
| その他経常収益 | 1,427 |
| 経常費用 | 35,628 |
| 資金調達費用 | 7,463 |
| 預金利息 | 4,937 |
| 役務取引等費用 | 4,547 |
| その他業務費用 | 164 |
| 営業経費 | 20,176 |
| その他経常費用 | 3,276 |

| 科目 | 金額 |
|---------------------|---------------|
| 経常利益 | 19,135 |
| 特別利益 | 890 |
| 特別損失 | 2,845 |
| 税引前中間純利益 | 17,180 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 5,744 |
| 法人税等調整額 | 1,290 |
| 中間純利益 | 10,145 |

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第197期中 中間株主資本等変動計算書 (平成19年4月1日から平成19年9月30日まで)

(単位:百万円)

| | 株主資本 | | | | | | | | |
|--------------------------------|--------|-----------|--------------|-------------|-----------|-------------|-----------|-------------|-------------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | | | 利益剰余金 | | | | |
| | | 資本 準備金 | その他 資本剰余金 | 資本剰余金 合計 | 利益 準備金 | その他利益剰余金 | | | |
| | | | | | | 退職給与 積立金 | 別途 積立金 | 繰越利益 剰余金 | 利益剰余金 合計 |
| 平成19年3月31日残高 | 30,043 | 18,585 | — | 18,585 | 30,043 | 840 | 70,032 | 21,487 | 122,402 |
| 中間会計期間中の変動額 | | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | | | △1,578 | △1,578 |
| 中間純利益 | | | | | | | | 10,145 | 10,145 |
| 別途積立金の積立 | | | | | | | 16,500 | △16,500 | — |
| 自己株式の取得 | | | | | | | | | |
| 自己株式の処分 | | | 1 | 1 | | | | | |
| 株主資本以外の項目の 中間会計期間中の変動額 (純額) | | | | | | | | | |
| 中間会計期間中の変動額合計 | — | — | 1 | 1 | — | — | 16,500 | △7,933 | 8,566 |
| 平成19年9月30日残高 | 30,043 | 18,585 | 1 | 18,587 | 30,043 | 840 | 86,532 | 13,553 | 130,969 |

| | 株主資本 | | 評価・換算差額等 | | | | 新株予約権 | 純資産合計 |
|--------------------------------|--------|------------|------------------|-------------|----------------|-----|---------|-------|
| | 自己株式 | 株主資本 合計 | その他有価証券 評価差額金 | 繰延ヘッジ 損益 | 評価・換算 差額等合計 | | | |
| 平成19年3月31日残高 | △1,953 | 169,078 | 8,080 | 58 | 8,138 | 68 | 177,285 | |
| 中間会計期間中の変動額 | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | △1,578 | | | | | △1,578 | |
| 中間純利益 | | 10,145 | | | | | 10,145 | |
| 別途積立金の積立 | | | | | | | — | |
| 自己株式の取得 | △97 | △97 | | | | | △97 | |
| 自己株式の処分 | 73 | 74 | | | | | 74 | |
| 株主資本以外の項目の 中間会計期間中の変動額 (純額) | | | △3,571 | △26 | △3,598 | 69 | △3,528 | |
| 中間会計期間中の変動額合計 | △24 | 8,543 | △3,571 | △26 | △3,598 | 69 | 5,014 | |
| 平成19年9月30日残高 | △1,978 | 177,621 | 4,508 | 31 | 4,540 | 138 | 182,299 | |

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

トピックス

OCN会員向け「スルガ銀行OCN支店」を開設

エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社とOCN会員向け金融サービスのご提供に特化した、インターネット支店「スルガ銀行OCN支店」を開設しました。

OCN支店は日本初のインターネット支店を開設したスルガ銀行の12番目のインターネット支店です。

詳細はインターネットホームページをご覧ください。
<http://www.surugabank.co.jp/ocn/>



「ネットバンク支店Gポイントクラブ」を開設

～国内最大級のポイント交換サイト「Gポイント」と提携～

ジー・プラン株式会社と提携し「ネットバンク支店Gポイントクラブ」を開設しました。Gポイントクラブは、スルガ銀行インターネット支店の6つ目のクラブとなります。

「Gポイント」とは、Gポイントを仲介ポイントとして複数のポイント同士を交換できるサービスです。ユーザーはバラバラに貯まっていたポイントをGポイントに集約することができ、貯まったGポイントをさらにお好みのポイントに交換することで、好きなサービス、景品を手に入れることができます。

「ネットバンク支店Gポイントクラブ」に口座開設したお客さまは、スルガ銀行がご提供するさまざまな金融サービスをご利用いただくことで、Gポイントを獲得することができます。獲得したGポイントはGポイント提携116社のマイレージやポイントに交換することができます。

詳細はインターネットホームページをご覧ください。
<http://www.surugabank.co.jp/gpoint/index.html>



銀行本体による「遺言信託」「遺産整理業務」の取り扱いを開始

個人のお客さまの相続に関する大切な財産をいかに遺すかというニーズに幅広くお応えすることを目的として、平成19年9月3日(月)より銀行本体で「遺言信託」「遺産整理業務」の取り扱いを開始しました。

遺言・相続分野に精通した信託アドバイザーが、お客さまへのコンサルティングを担当させていただくことで、円滑かつ的確にお客さまのご要望にお応えします。

| 取扱業務 | 内容 |
|-------------------------|---|
| 遺言信託 (遺言書保管ならびに遺言執行) | お客さまの遺言書作成への協力、遺言書の保管、および相続発生後は当社が遺言執行者として遺言書に基づく遺産分割手続き等を行います。 |
| 遺産整理業務 | 相続発生後、相続人全員の委任に基づき当社が相続人の代理人(遺産整理受任者)として遺産相続に係る諸手続きをお手伝いします。 |

お問い合わせは、アクセスセンター【TEL：0120-50-8689】
 または最寄りの当社支店窓口(お取り次ぎのみ)にて承ります。

トピックス

ATM振込手数料を一部無料化

お客さまのさらなる利便性向上を図るため、当社キャッシュカードでお振り込みされた際の「当社同一支店・本支店あてのATM振込手数料」を無料化することといたしました。

| 振込金額 | 変更後 | 変更前 |
|-------|-----|------|
| 3万円未満 | 無料 | 105円 |
| 3万円以上 | 無料 | 315円 |

夢を叶える女性を応援する「Dream Style ホームローン」の取り扱いを開始

夢を叶える女性を応援する「Dream Styleシリーズ」の第1弾として「スーパーホームローンレディース<ハッピーライフサポート付き>愛称：Dream Styleホームローン」の取り扱いを開始しました。「Dream Styleホームローン」は、当社女性社員の活躍と、仕事・プライベートの両立支援を推進するSMART委員会の「乳がんなど、女性特有の病気を定期的にチェックし健康を維持していただきながら、お客さまの夢を叶える応援をしたい」という想いによって企画・開発された商品です。

SMART (Suruga Management Action for Raising Task of working women) 委員会について

女性が個性と能力を発揮しながら職場でいきいきと活躍できる社内改革と、性差に無関係な組織風土づくりを促進し、女性の経営参画を加速させることを目的に、平成16年8月に発足した社内の委員会組織です。

平成19年7月現在、6名の女性メンバーと女性の事務局にて活動しています。



地域への支援活動

当社は地域文化の活性化を図るため、地域の催事・記念行事への積極的な参加や文化支援活動などを通じて、皆さまとの連帯・共感を深め、地域社会の明るい発展に力強く貢献していきます。

●SURUGA CUP

地域社会のスポーツ振興をお手伝いするための活動の一環として、サッカー大会にスポンサー協賛しております。

そのうち総勢16チームが参加した「第19回スルガカップ静岡県ユース (U-15) サッカー選手権大会」は9月22日、予選を勝ち上がった4チームによる準決勝・決勝戦を行い、ハイレベルな試合が展開されました。



●24時間テレビ「愛は地球を救う」への協賛

社会貢献の一環として平成6年より実施している日本テレビの24時間テレビ「愛は地球を救う」へボランティア協賛しており、店頭にてお預かりしたチャリティー募金は各種支援活動に充てられています。今年は8月19日に行い、多くの方の善意をお預かりすることができました。



●富士山清掃への参加

富士山の環境保全・美化のため、毎年富士宮市・御殿場市・小山町が昭和54年から実施している富士山清掃に参加しています。今年は8月13日に実施し、120名以上が参加し富士山の美化に努めました。



●ライトダウンキャンペーンの実施

環境省の推奨する「ライトダウンキャンペーン※」に当社営業店および本部における全部署で独自に取り組むことで、地域社会の環境改善を促進しました。

※ライトダウンキャンペーン

夜間の消灯を実施することで電力消費量の削減を図るとともに、環境問題への意識を啓蒙する活動です。



●ベルナルル・ビュフェ美術館

～ワークショップ「バタフライソングを描こう！」～

夏期特別展「こども版画美術館」展 (7月17日～10月30日開催)

関連ワークショップとして、出品作家である杉戸洋さんを講師に迎え、15名の子供たちと大きな2枚の絵を仕上げました。杉戸さんが用意した淡い色のキャンバスに、子供たちが制作した、ダンボールのスタンプから生まれた蝶がかわいく舞いました。(7月28日開催)



～ワークショップ「パーランクルをつくって、演奏しよう！」～

20名の子供たちが、沖縄の伝統工芸「エイサー」で使用される手打ちの太鼓を作り、プロの打楽器奏者グループDADAと競演しました。4回目を迎える夏恒例のマリンバコンサートに、パーランクルの音がいつもと異なるパンチを与えてくれました。(8月5日開催)

●財団法人企業経営研究所

～国際交流支援事業(海外研修生等助成事業)助成金を交付～

今年度の「海外研修生等助成事業」助成金交付対象者2名を決定、7月9日認定書を授与し助成金を交付しました。この事業は、静岡県内の各学校等で教育指導に当たっている教職員の方々に、海外で技術・技能・知識等を修得・研究し、子供たちに夢や感動を伝え、分かち合うことを志す方を対象に毎年実施しているものです。



～スルガビジネススクール MBA講座2007開講～

7月に3泊4日の日程で「スルガビジネススクールMBA講座2007」を開講しました。このセミナーは、毎年、慶応義塾大学経営大学院の教授陣を中心とした講師を招聘し、企業の経営者や経営幹部の方々を対象として本格的なケーススタディを使って行われます。今年で36回を数え、過去700名以上の方々に参加いただいています。



ミッドタウン支店 / d-labo (夢研究所)

d-labo (夢研究所) では「みんなの夢から未来を創る」をテーマに、さまざまな活動によって「夢見る力」「夢探し」をサポートしています。

当期中に行われました主なセミナーおよびイベントは以下の通りです。

セミナーの開催

d-log.001 平成19年5月24日 (木曜日)

「d-laboから考える」

ー僕らは都市に夢を見るかー

講師：東京大学大学院情報学環准教授

北田暁大氏

東京工業大学世界文明センター特任教授

東 浩紀氏



d-log.002 平成19年6月27日 (水曜日)

「Opportunity × Risk」

ー経営学の第一人者による成功のための社会インフラ論ー

講師：財団法人 日本総合研究所理事長、

財団法人 社会開発研究センター会長、

多摩大学名誉学長、初代宮城大学学長

野田一夫氏

d-log.003 平成19年7月31日 (火曜日)

「新しさや若さに媚びない大人文化を取り戻す」

ー雑誌『サライ』『駱駝』の読者に学ぶ生き方ー

講師：岩本敏氏



d-log.004 平成19年8月29日 (木曜日)

「d-labo読書部はじまります」

ー「LEGGO 本のある生活」@d-laboー

講師：小説家 中村文則氏

BACH (バッハ) 代表ブックディレクター 幅允孝氏

mattキャプテン・空間デザイナー・ディレクター 李明喜氏

d-log.005 平成19年9月20日 (木曜日)

「子どもの絵で地球を塗り替えよう」

ー世界中の子ども達と描く20年ー

講師：鳥居晴美氏



d-laboギャラリー

～にっぽん周遊、引き出しの旅～

47都道府県の協力を得て、それぞれの視点で夢や、未来をテーマに、名産・名品などを利用した作品として展示するイベントを開催しました。



詳細はインターネットホームページをご覧ください。

<http://www.d-labo-midtown.com/index.php>



株式についてのご案内

◇ 決算日

毎年3月31日をもって決算を行います。

◇ 配当金

剰余金の配当を行う場合は、下記の剰余金の配当基準日における最終の株主名簿および実質株主名簿に記載または記録された株主に対し、お支払いいたします。

剰余金の配当の基準日 3月31日、9月30日

そのほか、当社が定めた基準日

配当金のお受け取りには、お近くの当社本支店・出張所の預金口座振込をご指定くださいますと、お受け取りが早くて便利です。

◇ 定時株主総会

毎年6月に開催いたします。

◇ 基準日

定時株主総会については、毎年3月31日といたします。その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。

◇ 公告の方法

日本経済新聞に掲載いたします。

ただし、銀行法第20条6項の規定により、決算公告につきましては、当社ホームページに掲載いたします。

<http://www.surugabank.co.jp/>

◇ 株式事務取扱場所・取次所

(1) 株主名簿管理人

東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号

日本証券代行株式会社

(2) 同事務取扱場所

東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号

日本証券代行株式会社 本店

電話 03-3668-9211

[郵便物送付先お問い合わせ先]

〒137-8650

東京都江東区塩浜二丁目8番18号

日本証券代行株式会社 代理人部

(住所変更等用紙のご請求) 電話 0120-707-842

(その他のご照会) 電話 0120-707-843

株式お手続き用紙のご請求をインターネットでも受け付けております。

ホームページアドレス

<http://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html>

(一部の用紙は、お手持ちのプリンターで印刷できます。)

(3) 同取次所

日本証券代行株式会社 各支店

◇ お知らせ

住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式の買取・買増請求に必要な各用紙、および株式の相続手続依頼書のご請求は、株主名簿管理人のフリーダイヤル0120-707-842で承っておりますので、ご利用ください。

主なインターネット支店一覧

銀行取引でマイルがたまる全く新しいマイル&バンキングスタイル

ANA支店

http://www.surugabank.co.jp/ana/
(24時間/365日)
フリーダイヤル/0120-029-589
(海外から 055-98-02988)
電話受付時間 9:30~17:00 (月~金曜日)
(祝日を除く)



ローン中心のダイレクトバンキング

ダイレクトワン支店

http://www.surugabank.co.jp/directone/
(24時間/365日)
フリーダイヤル/0120-60-1616
電話受付時間 10:00~20:00 (月~金曜日)
10:00~17:00 (土・日・祝日)



OCN会員の方専用の金融サービスが充実

OCN支店

http://www.surugabank.co.jp/ocn/
(24時間/365日)
フリーダイヤル/0120-055-175
電話受付時間 9:00~17:00 (月~金曜日)
(祝日を除く)



付加価値の高いビジネスローンサービスをご提供

イービジネスダイレクト支店

http://www.surugabank.co.jp/ebusinessdirect/
(24時間/365日)
フリーダイヤル/0120-185-285
電話受付時間 10:00~20:00 (月~金曜日)
(祝日を除く)



女性向けのバンキングサイト

ソネット支店

http://www.surugabank.co.jp/so-net/
(24時間/365日)
フリーダイヤル/0120-50-2189
電話受付時間 9:00~19:00 (月~金曜日)
(祝日を除く) 9:00~17:00 (土曜日)



B to B、B to C のニーズにお応えする

ネットバンク支店

http://www.surugabank.co.jp/docomo/
(24時間/365日)
フリーダイヤル/0120-17-2038
電話受付時間 9:00~17:00 (月~金曜日)
(祝日を除く)



日本初のインターネット支店

ドリームダイレクト支店

http://www.surugabank.co.jp/dream/
(24時間/365日)
フリーダイヤル/0120-89-1016
電話受付時間 9:00~19:00 (月~金曜日)
(祝日を除く) 9:00~17:00 (土曜日)



http://www.surugabank.co.jp/alsok/

(24時間/365日)
フリーダイヤル/0120-243-053
電話受付時間 9:00~17:00 (月~金曜日)
(祝日を除く)



SE(システムエンジニア)専用の支店

エスイーバンク支店

http://www.surugabank.co.jp/sebank/
(24時間/365日)
フリーダイヤル/0120-803-689
電話受付時間 9:00~17:00 (月~金曜日)
(祝日を除く)



詳細は
インターネットホームページを
ご覧下さい。



営業店舗網 (平成19年10月1日現在)

●静岡県 (80か店)

- 9E◎ 本店 営業部
- 9E◎ 沼津原町支店
- 9E◎ 徳倉支店
- 9E◎ 沼津駅支店
- 9E◎ 沼津大手町支店
- * 沼津市役所出張所
- 8E◎ 沼津港支店
- 9E◎ 沼津南支店
- 8E 沼津静浦支店
- 9E◎ 沼津青野支店
- 9E 沼津あしたか支店
- 9E◎ 沼津セントラル支店
- 9E◎ 三島支店
- 9E◎ 三島セントラル支店
- 9E◎ 三島西支店
- 9E◎ 長泉支店
- 9E ウェルディ長泉出張所
- A N A 支店
- O C N 支店
- ソネット支店
- ソフトバンク支店
- ドリームダイレクト支店
- ネットバンク支店
- マイ支店
- エスイーバンク支店
- ダイレクトワン支店
- イビジスタダイレクト支店
- タウンネットワーク支店
- ハウジングローン支店
- 9E◎ 清水町支店
- 9E◎ 大場支店
- 9E◎ 伊豆長岡支店
- 9E◎ 伊豆中央支店
- 8E◎ 修善寺支店
- 8E◎ 中伊豆支店
- 8E 天城湯ヶ島支店
- 9E◎ 熱海支店
- 9E◎ 熱海駅支店
- 9E◎ 伊東支店
- 9E◎ 伊東駅支店

- 8E◎ 下田支店
- 8E◎ 松崎支店
- 8E◎ 伊豆稲取支店
- 9E◎ 御殿場駅支店
- 9E◎ 御殿場西支店
- 9E◎ 御殿場東支店
- 8E◎ 裾野支店
- 9E◎ 小山支店
- 9E◎ 富士吉原支店
- 9E 富士市役所出張所
- 9E◎ 富士支店
- 8E◎ 新富士駅支店
- 9E◎ 富士鷹岡支店
- 8E◎ 富士宮支店
- 8E◎ 清水支店
- 8E 興津支店
- 9E◎ 清水駅支店
- 9E◎ 清水三保支店
- 8E 清水高橋支店
- 9E◎ 草薙支店
- 9E◎ 静岡支店
- 9E◎ 静岡南支店
- 6 ◎ 静岡県庁支店
- 8E◎ 伝馬町支店
- 9E◎ 静岡東支店
- 8E 静岡上土支店
- 8E◎ 焼津支店
- 9E◎ 岡部支店
- 9E◎ 藤枝駅支店
- 8E◎ 島田支店
- 9E◎ 榛原支店
- 8E◎ 相良支店
- 10E◎ 金谷支店
- 9E◎ 掛川支店
- 8E◎ 袋井支店
- 8E◎ 磐田支店
- 9E 天竜支店
- 8E◎ 浜松支店
- 8E 浜松追分支店
- 8E◎ 浜松北支店

●神奈川県 (36か店)

- 8E◎ 横浜支店
- 6 神奈川県庁出張所
- 11E◎ 横浜東口支店
- 9E◎ 横浜日吉支店
- 9E◎ 横浜戸塚支店
- 8E◎ 横浜弥生台支店
- 8E◎ 横浜若葉台支店
- 9E◎ 横浜磯子支店
- 9E◎ 横浜六ツ川支店
- 9E◎ 横須賀支店
- 8E◎ 横須賀武山支店
- 9E◎ 久里浜支店
- 8E◎ 三浦海岸支店
- 8E◎ 鎌倉支店
- 9E◎ 藤沢支店
- 8E◎ 湘南ライフタウン支店
- 9E◎ 湘南台支店
- 6 慶應義塾大学出張所
- 9E◎ 辻堂支店
- 11E◎ 茅ヶ崎支店
- 9E◎ 茅ヶ崎鶴が台支店
- 8E 浜見平支店
- 9E◎ 平塚支店
- 9E◎ 厚木支店

- 9E◎ 厚木鷲尾支店
- 8E◎ 相模原支店
- 8E◎ 東林間支店
- 9E◎ 中央林間支店
- 9E◎ 海老名支店
- 9E◎ 秦野支店
- 9E◎ 小田原支店
- 9E◎ 小田原東支店
- 8E◎ 松田支店
- 8E◎ 南足柄支店
- 9E◎ 箱根支店
- 8E 湯河原支店

●東京都 (4か店)

- 9E◎ 東京支店
- 6E◎ 渋谷支店
- 6E◎ 新宿支店
- 7E ミッドタウン支店

●その他 (4か店)

- 6E 柏出張所
- 6E 大宮出張所
- 6 ◎ 名古屋支店
- 6E 大阪支店

ローンご相談窓口

- | | |
|-----------------|-------------------|
| ドリームプラザ日本橋 | 平塚ハウジングローンセンター |
| ドリームプラザ渋谷 | 厚木ハウジングローンセンター |
| ドリームプラザ新宿 | 中央林間ハウジングローンセンター |
| ドリームプラザ柏 | 小田原ハウジングローンセンター |
| ドリームプラザ大宮 | 三島ハウジングローンセンター |
| ドリームプラザ横浜 | 富士ハウジングローンセンター |
| ドリームプラザ名古屋 | 静岡ハウジングローンセンター |
| ドリームプラザ大阪 | 藤枝ハウジングローンセンター |
| 横須賀ハウジングローンセンター | 浜松ハウジングローンセンター |
| 藤沢ハウジングローンセンター | ダイレクトハウジングローンセンター |

自動取引機 (CD・ATM) 設置状況

| | | |
|--------------------------|----------|---------|
| ●店舗内設置 | 112か所 | 337台 |
| ●店舗外設置 | 20,362か所 | 20,845台 |
| (うちセブン銀行ATM) | 12,123か所 | 12,548台 |
| (うちイーネットATM) | 7,673か所 | 7,700台 |
| (うちタウンネット ワークサービスATM) | 377か所 | 377台 |
| ●合計 | | 21,182台 |

(平成19年9月末現在)

店舗のご案内

- ◎印は外貨両替業務取扱店
- 印は外貨両替業務取扱店のうち外貨現金買取およびトラベラースチェックのお取り扱いを行っています。
- E印はATM、土曜・日曜・祝日取扱店
(1/1～1/3および5/3～5/5を除く)
<5/3～5/5のうち日曜日にあたる日は営業>
- 6はATM平日18時まで取扱店
- 7はATM平日19時まで取扱店
- 8はATM平日20時まで取扱店
- 9はATM平日21時まで取扱店
- 10はATM平日22時まで取扱店
- 11はATM平日23時まで取扱店
- *はATM平日17時30分まで取扱店

ソフトバンク支店は、平成19年12月17日(月)より支店名を「ダイレクトバンク支店」に変更いたします。



スルガ銀行

詳しい内容、お問い合わせは

アクセス
センター  **0120-50-8689**

お電話 承り時間 月～金曜日(祝日を除く) 9:00～19:00

ホーム
ページ www.surugabank.co.jp



JQA-QM4469
JQA-EM1256
JQA-IM0301
アクセスセンター